

M05b Magnetic Environment of Solar $H\alpha$ Surge Product Regions

佐野周作、黒河宏企（京大理）

前回の年会に引き続き、 $H\alpha$ サージが発生した太陽活動領域の磁場環境について報告する。1984年から1993年までの10年間に飛騨天文台ドームレス太陽望遠鏡によって観測された $H\alpha$ サージは、AFSを伴う磁場浮上領域（EFR）、または半暗部が発達した黒点の半暗部に集中して発生していることが判明した。このうち、前者のタイプについては、数時間から1日の間にAFSの発達や黒点の成長が見られる例が大半を占めており、 $H\alpha$ サージが新しい磁場の浮上と密接に関連していることを示唆している。また、後者のタイプについても、

1. $H\alpha$ 単色像でAFSと思われる模様を伴っている例があること
2. $H\alpha$ サージが同一場所で再発生している例があること
3. 磁場強度が時間的に増大している例があること

等から考えて、前者のタイプと同様に新しい磁場の浮上が $H\alpha$ サージ発生の原因となっている可能性を窺わせている。本年会では、以上の事実を飛騨天文台ドームレス太陽望遠鏡によって観測された単色像と北京天文台 Huairou Station のマグネットグラフによって観測された磁場マップを用いて説明し、 $H\alpha$ サージの発生原因としての磁場浮上の重要性を示す。